

多摩の明るい未来を目指して

# TAMASHIN REPORT 2018.12

2018.4.1 → 2018.12.31



多摩信用金庫

## 第3四半期までの取り組みと その結果についてご報告します。

いつもたましんをご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。  
2018年4月から12月までの私たちの取り組みとその結果をご報告します。  
今年度も多摩の明るい未来の実現に向けて、  
お客さま、地域社会が抱える課題の解決に取り組んでまいります。  
今後も変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

理事長 **八木 敏郎**



## — 多摩地域の活性化のため、さまざまな活動に取り組んでいます。 —

### 企業・事業者への支援



お客さまにあった決済サービスをご紹介します

#### キャッシュレス決済サービスラインナップの充実

企業・事業者の決済手段拡充をサポートするため、新たにコイニー株式会社、株式会社Origamiと業務提携しました。ラインナップを取りそろえ、クレジットカードや電子マネー等のキャッシュレス決済サービスの導入をお手伝いします。

#### 第16回多摩ブルー・グリーン賞

16回目を迎えた多摩ブルー・グリーン賞は、過去最多となる173件のご応募をいただきました。最優秀賞に株式会社青電舎(技術・製品部門)、株式会社日本フードエコロジーセンター(経営部門)、優秀賞10件、奨励賞9件及び特別賞2件を決定し、12月12日に表彰式を行いました。



第16回多摩ブルー・グリーン賞 表彰式

#### 国分寺市「こくぶんじ創業塾」、 小平市「こだいら創業塾」の開催

多摩地域での創業を応援する取り組みとして、自治体と連携して創業塾を開催しました。創業塾は、多摩地域の税理士などの専門家を講師に迎え、創業に必要な知識を学べるカリキュラムです。国分寺市では23名、小平市では10名の方にご参加いただきました。全5回の連続講座が受講者の交流の場にもなっています。



自治体と連携して創業塾を開催

#### 多摩地域の次世代を担う経営者の育成

多摩地域の次世代ビジネスリーダーを育成する経営者塾「TAMA NEXTリーダープログラム」(明星大学と共催)の第11期生20名が卒業式を迎えました。講座を通して、財務やマーケティング、マネジメントの知識を体系的に学び、その集大成として受講生自身が自社の事業計画を練り上げ、卒業式で発表しました。



卒業発表の様子

## 個人の皆さまへのお手伝い



#### たましんリバースモーゲージローン

所有不動産を活用し、豊かなセカンドライフを実現する「たましんリバースモーゲージローン」の取り扱いを開始しました。老後の生活費に不安がある方や返済が心配といった理由で住宅の建替えやリフォームなどを諦めていた方にも安心してご利用いただけます。



セカンドライフの充実に支援

#### インターネットで資産運用

インターネットサービス(たましんパーソナルダイレクト)における外貨預金の取り扱いを開始しました。日中、ご来店が難しいお客さまでも、パソコンやスマートフォンから、ご自身のタイミングで外貨預金の新規契約・解約予約等のお手続きが可能です。既に取り扱いを開始している「投信インターネットサービス」とあわせ、お客さまの資産運用に関するお手続きや情報照会の利便性向上を図っています。



いつでもどこでも資産運用

#### たましん後見制度支援預金

後見制度支援預金は、後見制度をご利用の方の財産のうち通常使用しない金銭を別の口座でお預かりする預金です。お取引には家庭裁判所の「指示書」が必要なため財産管理の透明性が増し、さらに後見人が手元で管理する財産が少なくなることで家庭裁判所への後見事務報告の負担が軽減されます。「たましん後見制度支援預金」は、東京都在住の被後見人の方に加え、山梨県在住の方もご利用いただけるようになりました。さらに多くのお客さまのご相談等を承ります。



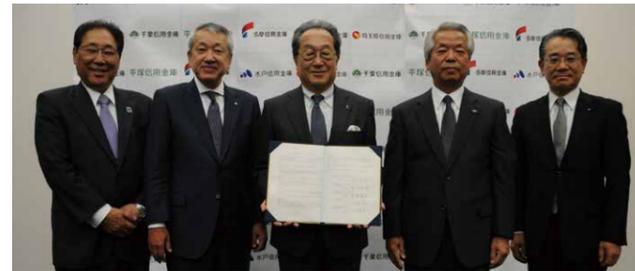
専門家と一緒にお客さまをサポート

## 地域社会への取り組み



#### 圏央道沿線等の地域活性化に向けた相互協力

圏央道沿線等の地域活性化や観光資源の活用などを目的に、水戸信用金庫、埼玉縣信用金庫、千葉信用金庫、平塚信用金庫と「しんきん圏央道アライアンス」に関する協定を締結しました。地域を横断した信用金庫の広域ネットワークを構築し、さまざまな情報を共有することで地域と企業・事業者の課題解決に取り組んでいきます。



しんきん圏央道アライアンス協定締結式

#### 多摩地域の産業振興について活発な意見交換

東京経済大学と連携し、「東京都の中小企業振興ビジョンと多摩地域」と題し、産業振興をテーマとしたシンポジウムを開催しました。企業・行政・大学・商工団体などの関係者269名が参加し、活発な意見交換が行われました。



パネルディスカッションの様子

#### GREEN SPRINGS暴力団等排除協議会に加入

「GREEN SPRINGS」とは、現在建設を進めている「たましん新店本部棟」を含むエリアの街区名称です。当該エリアにおける暴力団等による不当要求の一切を排除するために、立川警察署主導の下で暴力団等排除協議会が発足し、たましんも加入しました。各関係機関との連携を強化し安心・安全な街づくりに取り組んでいきます。



GREEN SPRINGS暴力団等排除協議会発足式

#### 首都大学東京と連携した自治体職員向けスクール

首都大学東京と連携して「地域創生スクール2018」を開催しました。14名の自治体職員等が受講し、全7回の講義・グループワーク等を通して地域創生事業の立案に必要とされる、データ解析・結果解釈・事業計画提案などスキルアップに取り組みました。

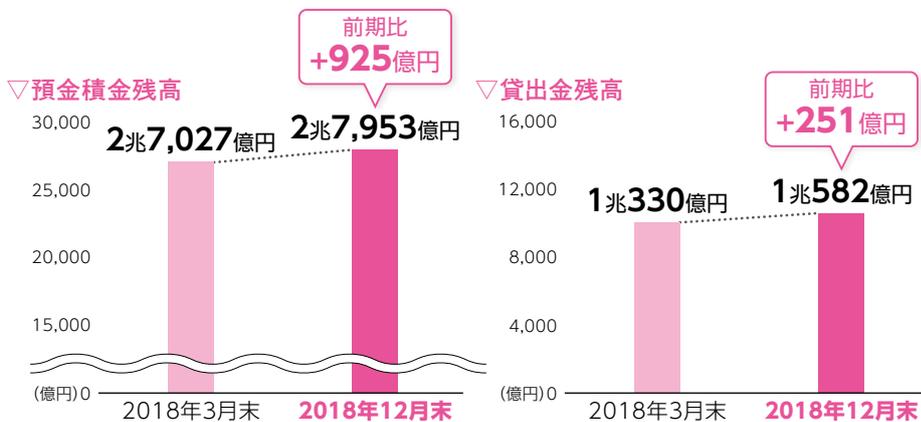


連携事業について  
討議する自治体職員

## 預金・貸出金について

地域の皆さまが抱える課題の解決に取り組んだ結果、預金積金残高は前期比925億円増加し2兆7,953億円となり、貸出金残高は前期比251億円増加し1兆582億円となりました。内訳をみると、事業性のご融資は205億円増加、個人のお客さまへのご融資は46億円増加しました。

※ 個人のお客さまへのご融資には、個人事業者向け住宅資金・消費資金等が含まれます。



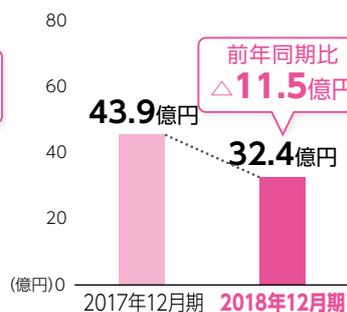
## 損益について

業務純益は、低金利環境の継続などによる貸出金利息の減少、安定したポートフォリオを構築するための運用資産の組み換えに伴う国債等債券売却償還損の増加を主な要因として、前年同期比10.7億円減少の28.8億円となりました。経常利益は前年同期比11.5億円減少の32.4億円、当期純利益は23.8億円となりました。

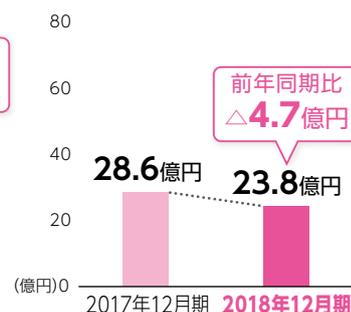
### 業務純益の推移



### 経常利益の推移



### 当期純利益の推移



## 有価証券について

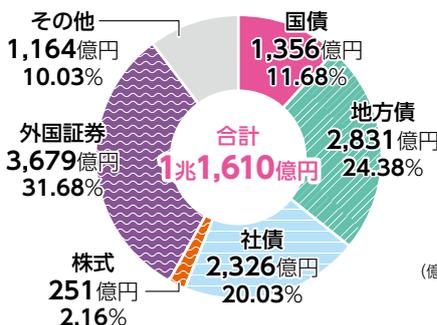
資金運用については、中長期的に安定した運用を心がけ、各種リスク管理を行ったうえで、国内外の債券を中心に株式や投資信託等に分散投資しています。

国内外の株価の下落や海外金利の上昇などから、保有有価証券の評価益は前年同期比134億円減少し、145億円となりました。

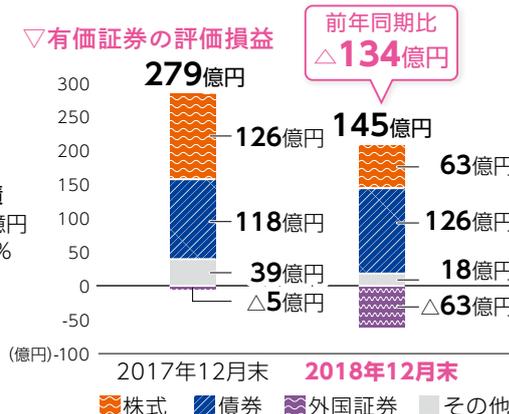
※ 有価証券の種類別残高は2018年12月末における貸借対照表計上額です。

※ 右記の「その他」は、投資信託等です。

### 有価証券の種類別残高内訳 (2018年12月末現在)



### 有価証券の評価損益



## 不良債権について

金融再生法開示債権のうち正常債権を除く開示額は前期比8億円増加し668億円となりましたが、不良債権比率は0.07ポイント低下し6.30%となりました。不良債権のうちの76.87%は担保・保証や貸倒引当金によって保全され、残りの23.12%にあたる154億円についても、自己資本により、全額カバーされています。

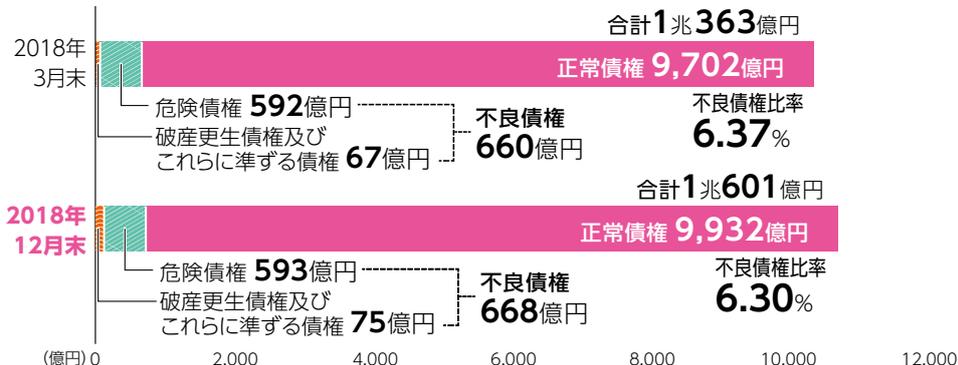
※ 金融再生法開示債権は、貸出金のほか、外国為替、債務保証見返、仮払金、未収利息、たましんが保証する私募債を対象としています。

※ 債権残高は、倒産・延滞や決算期の到来等の事象の発生が都度、実施された自己査定結果に基づいています。

※ 自己査定で無価値または回収不能と判断された債権については、部分直接償却予定額として、2018年12月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」から、11億円を控除しています。

※ 要管理債権の残高はありません。

### 債権総額と内訳



○本誌に掲載している計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいています。また、会計監査人の監査を受けていません。

○本誌では、原則として単位未満(構成比等の比率については表示した数値未満)を切り捨てのうえ表示しています。従って項目ごとを合計した場合、合計を表示している欄等との数値が一致しない場合があります。

